

# 癒しの先に自立がある

## 大槌みらい新聞

2013(平成25)年  
7月15日(月・祝)

第10号(最終号)

発行  
JCEJ 日本ジャーナリスト  
教育センター  
電話 0193(55)5908  
FAX 020(4662)9611

定価：50円

2・3面  
大槌まちれば  
メッセージ特集

4面  
みらい新聞の  
活動報告

## 明日への活力を岩盤浴で

GORORIN 経営 鈴木亜希子さん(37)

「美と癒し」のスポットが大槌にもある。岩盤浴「GORORIN(ゴロリン)」には、震災後の明日に向かう力を蓄えに来る客が途切れることがない。「立ち上げられる人から立ち上がって、その背中を見て誰かが続けてくれたら」。経営する鈴木亜希子さん(37)はそんな願いを胸に秘めて店に立つ。復興という言葉を安易に使うのではなく、時間はかかっても「癒しの先の自立」という心のステップアップを大切にしている。

釜石市で生まれ育った鈴木さんは、結婚を機に大槌での暮らしをスタートさせた。ゴロリンは、燃料販売や住宅の設備工事などを手掛ける「鈴藤商」を経営者する義父と木さんは、2004年にオー

天然鉱石を敷き詰めた浴室など、店内の設備はほとんどが手作り。入口に掲げられたサインは、鈴木さんがはしごに登って取り付けた。

オープン当初は銭湯のような身近な健康施設を目指していたが、岩盤浴ブームが到来。町内外からダイエツトや美容効果に関心を持った若い女性が増えた。大槌町には女性が一人で出かける場所が少ない。義父の他界後に経営を引き継いだ鈴木さんは、美と癒しをテーマに店を改築。世界各国のミネラルウォーターやおしゃれな雑貨を販売するコーナーを設け、ホットヨガなどのイベントを開くようになった。

鈴木さんの思い描いた理想の空間が整いつつあった矢先、東日本震災が町を襲った。町の中心



ゆったりした雰囲気のある岩盤浴室



店舗の入り口。震災当時は避難所にもなった

部にあつた自宅と鈴藤商店の社屋は、津波で跡形もなく流された。鈴木さんは、大きな被害を免れたゴロリンを避難所として開放。周辺に転がっていた残ガス容器を拾い集め、地下水を沸かして温かいシャワーを浴びてもできることにした。「できることはそれぐらいしかなかった」と無力感にさいなまれる鈴木さんを力づけてくれたのは、常連客や仲間だった。

「ゴロリンはもう自分だけのものではない。皆、私が動くのを待ってくれている。店を開けよう」。

「皆さんが思わず欲しくなるような商品やサービスを用意して、きちんとお代をいただき、経済を回していく。できる人からやっていかなきゃ」。鈴木さんは今日も笑顔で客を迎える。

(記事、湯浅翔子 写真、末澤弘太)

〈お詫び〉6月号が発行できなかったことをお詫び申し上げます。  
〈訂正〉5月号(9号)の配布は有料で行いました。

「大槌みらい新聞」の発行は7月号(10号)で最後となります。これまでのご愛読、ご支援、ご協力に感謝します。

新聞発行は終了しますが、ウェブサイトの更新と情報発信の教室はしばらくの間、続けて参ります。また、現地責任者の松本裕樹さんが中心となり新たなメディアを立ち上げることになりました。「大槌みらい新聞」と新たなメディアへの引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

「大槌みらい新聞」全体統括 藤代裕之



# 大槌まちれぽ

町民レポーターが町の出来事をお伝えるコーナーです!

町民レポーターから



### 結婚おめでとう!

6月30日、大槌で暮らす阿部夫妻の写真撮影をしてきました。今年の正月に籍を入れましたが、式を挙げる事ができていませんでした。今回貸し衣装のウエディングドレスで撮影をすることができ、ご家族もとても喜ばれていました。(K.H)



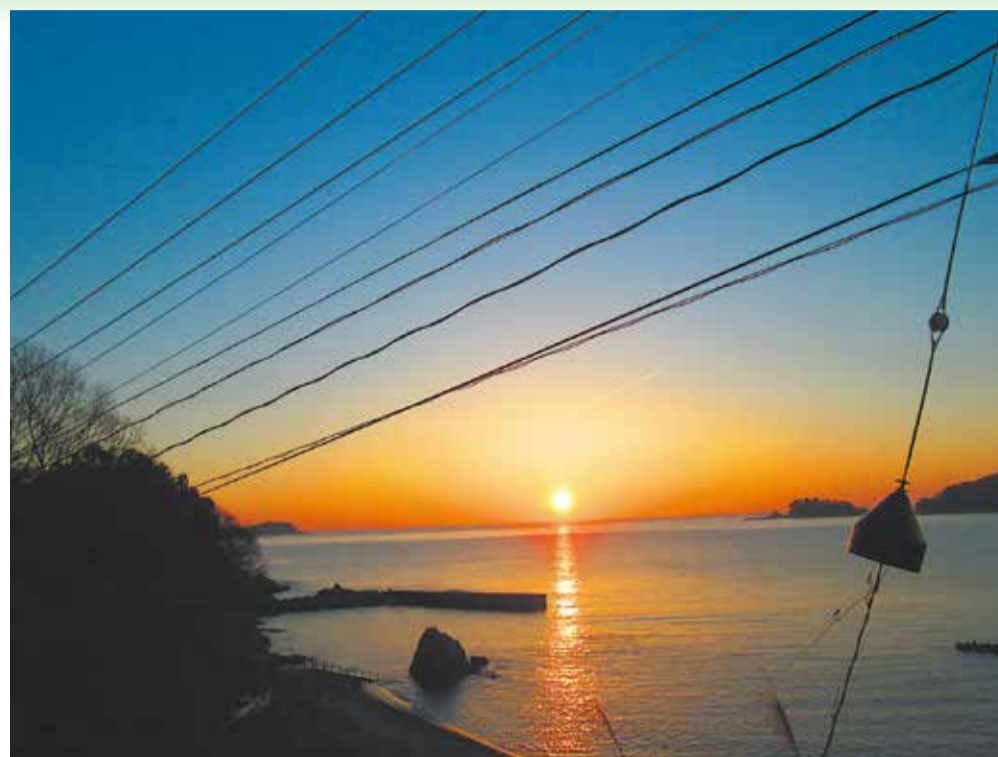
### 総体地区予選で大中優勝!

6月15,16日、2日間にわたり、中総体地区予選が開催されました。試合前の気合いの入ったエンジンを組む姿が私達にも届いているようにも見えました。結果、大中優勝!! 県大会出場が決定しました。今、生徒達は県大会に向けて練習に励んでいます。7月20,21日の県大会も頑張れ大中女子バスケット部!! (筑波 成美)



### 大中ソフトボール部、白澤鹿踊練習試合!

6月30日、大槌中学校女子ソフトボール部と初の練習試合を行いました。結果は14対2、鹿子踊の圧倒的勝利です。次回は9月、大中女子ソフトボール初勝利の日に向けて白澤鹿子踊も応援します。(東梅 英夫)



### 浪板の朝日

浪板海岸で朝日を撮影。ガレキがひどい場所だったけど、きれいになってきた場所で撮影しました。日が昇っていく瞬間が大好きで、朝日はよく撮りにいけれど、気持ちが投げやりなときに撮りにいきます。(平野志世子)

**タコヤキパーティで**  
6月5日に安渡第2仮設でタコヤキパーティが行われました! 大阪パルコープさん主催です。他の仮設住宅に住む友人とボランティアの人をパシヤリ。天気が良くて楽しい時間が過ごせました!(越田ミサ)



### 復興米の田植えも完了!

大槌復興米の田植えが5月26日に終わりました。まごころ農園のこの部分の田植えは、白澤さんがこだわりをもって行ったものだそうです。白澤さんは、「休みの日にはここに来て景色を眺めながらカセットの音楽を聞くと落ちつく」と話していました。(市川)



### 炭坑節!

6月2日、朝6時から草刈りの後、慰労会のバーベキュー。10人近くの人々が「炭坑節」を好きな曲に合わせて踊りました。踊っている人をよそに食べることに夢中になっている人もいました笑(境田)



### みらい新聞がきっかけに

存在感はないけれど、愛らしいマーガレット母校の校花でもあり青春を回想、みらい新聞さんがカメラ再開の切っ掛けに。(古館育子)



### 成長が楽しみです!

5月20日から、和野にある田んぼで田植えが行われました。大槌第3仮設に住むご近所さんが手入れをしているものです。夏は青々と成長していく姿を、秋には黄金色の穂を見るのがとても楽しみです。写真に収めていく予定です。(金田 タエ)



### お花をいただきました!

あいにくの梅雨空だったけど、花をわけてもらったので、仮設住宅のみなさんと記念撮影。こ住宅のみなさんと記念撮影。こ住宅の後手分けして、仮設住宅の周りの花を植えました。今はたくさんのお花に囲まれています。(佐々木良子)



### 東京神田でイベント

「大槌かめものたからもの」が開催

6月22日から7月7日まで、東京・神田のカフェ「カンダコーヒー」、「きささこ」で行われました。主催の大槌刺し子プロジェクトさんの呼びかけにより、大槌みらい新聞、動物と家族の写真を撮影、展示している、ぼくらは生きてるプロジェクトの合同展として大槌の今と自然、笑顔を伝えました。震災を風化させない、忘れない、という思いは首都圏の方も同じ。それぞれの場所で東北を応援しようという思いが形となったイベントでした。(よこいちえ)

### スーパームーン

18時10分くらいに吉里吉里ドライブインに行き、スーパームーンを待ちました。他にも見学してた人はいっぱいいて、野鳥をバックにいい写真が撮れたらいいなという気持ちで1時間くらい撮り続けました。(煙山)



### 乗り心地は最高です!

瀬谷丸を贈られて、喜びもありますが大きな責任も感じています。横浜市瀬谷区の保育園に連れられたとき、子どもたちが自分のゲームやおもちゃを売って支援をしてくれたことを聞いたときは涙が出そうになりました。早く三陸の魚を多くの人に届けたいです。(小石道夫)



### 姫ちゃん

娘が結婚した平成10年から飼っている愛猫の姫ちゃん(15歳)です。どういう仕草をしてもかわいく、いつも癒されています。写真に写るのが苦手だったお父さんも姫ちゃんと写るようになりました。(松村たか子)

### 仮設の仲間と行事を開催しています!

堤が丘仮設では、心身が落ち込まないよう春夏秋冬自治会で行事を計画してコミュニケーションをはかっています。これまで新年会、みずき団子づくり、花見、バーベキュー、盆踊り、クリスマス会、旅行などを行いました。写真は新年会の写真です。ほぼ全戸から参加し、うまい飯を食べ、カラオケやまたたび歌謡で盛り上がりました。(芳賀 廣喜)



### NHKの公開収録が行われました!

6月29日、城山中央公民館でNHKアーカイブス公開収録～若手 大槌町よみがえれ!ふるさとの記憶～が行われました。みさきちゃんのライブなど、3時間に渡る収録を友人と見てきました。関連して、ロビーでは、「ふるさとの記録」-模型復元プロジェクト展-が行われていました。懐かしい町の姿を見てきました。(MARUKO)



### 春の遠足で...

5月16日、毎年恒例の春の遠足。目的地は特別養護老人ホームらふたあヒルズの中庭で遊ぶ子どもたち、知り合いのおばあちゃんに駆け寄る女の子。手と手のぬくもりが伝わってきます。(芳賀 カンナ)





# 大槌みらい新聞最終号!

# 皆さんありがとうございました!

## 活動報告

### ワークショップ workshop

### 写真教室や文章教室を行ってきました!

大槌みらい新聞では、写真教室など情報発信に関する教室を3月末までに81回開催し、400人近くの方が参加して下さいました。8月に初めて行ったツ

ッター教室の参加者は0人でしたが、次第に参加してくれる人が増え、「もっと写真を撮ってみたい」「楽しい!」という参加者も増え、嬉しかったです。

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1回	8回	2回	13回	20回	12回	8回	17回	81回
0人	44人	14人	89人	100人	49人	37人	64人	397人

第1回目 ツッター教室参加者0人

初めての写真教室を北小学校で8人の方が参加!

文章教室も行いました!



写真展に向けてプロの写真家を招きました!

行動画教室も行いました!



### ネットで情報発信 transmission

### インターネットで全国に情報発信をしました!

「大槌みらい新聞」のウェブサイトでも、全国に向けて大槌町の情報を発信していました。大槌で活躍している方々や津波の経験の記録などを行ってきました。



### 写真展 「大槌の宝箱」 exhibition

### 大槌・東京・横浜で写真展「大槌の宝箱」を開催しました!

大槌町内で写真教室を開催する中で、参加者から「写真展をやってみよう」という声があがったことで開催が決定しました。写真展には約30名の方が出品し、大槌・東京・横浜の3会場に約2000人もの方が訪れ、出品者それぞれの視点からみた「大槌の今」をご覧頂きました。写真展に出品して下さいました皆様、写真展運営をお手



伝い頂いた皆様、ご支援頂いた皆様、本当にありがとうございました。



### インターンからひとこと

大槌みらい新聞で半年間活動したことで、たくさんの人に出会うことが出来、一生忘れられない経験が出来ました。今度は観光で大槌に遊びに行きます!(庄司 智昭)

大槌みらい新聞の活動ではなによりも人との出会いがたくさんあり、インターン生の仲間や、地元の方との交流を通じていろいろな考え方を吸収できました。大槌町が「復興」ではなく「成長」して良い街になることを応援しています。(工藤 優輔)

大槌での出会いは、立ち止まっていた私に一步を踏み出す勇気をくれました。「ありがとう」の言葉は文字だけでなく、また大槌に足を運んで伝えます。(中島 惇)



### 会計報告

「大槌みらい新聞」の活動に合計約400万円のご支援を頂きました。改めてお礼を申し上げます。頂いた支援は「大槌みらい新聞」の運営のみに使用し、運営母体の日本ジャーナリスト教育センター(JCEJ)事務費などへの使用はありません。残る資金約35万円と物品を活用して、大槌町内で情報発信の教室を実施して参ります。

支出	収入
旅費交通費 1,304,475	READYFOR? (1回目) 2,092,935
人件費 900,000	READYFOR? (2回目) 769,536
新聞印刷代 562,335	販売(写真、新聞等) 613,600
新聞配達費 53,172	寄付 622,212
拠点整備費 356,530	
事務用品、消耗品費 119,782	
備品購入 305,651	
(カメラ、パソコン等)	
会議費 23,778	
保険代金 13,720	
通信費 106,530	
計 3,745,973	計 4,098,283
	残 352,310